

長崎県内の肺がん検診の実績について

〔 地域保健・健康増進事業報告（厚労省）
2024.03 公表値より集計 〕

2024.10.21
長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会肺がん委員会

▶1. 肺がん検診受診率の状況

- ▶ 地域保健・健康増進事業報告（厚労省）公表値によると、令和4年度（長崎県）は7.8%で、全国平均 6.0%を上回り、全国13位。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国	16.0	16.1	11.2	7.7	7.4	7.1	6.8	5.5	6.0	6.0
長崎	21.5	20.8	18.0	9.6	9.5	9.2	8.8	6.9	7.7	7.8

算出年齢： ← 40～69歳（～H24までは「40歳以上」） →

対象者： ← 「就業者数」を除外しない →

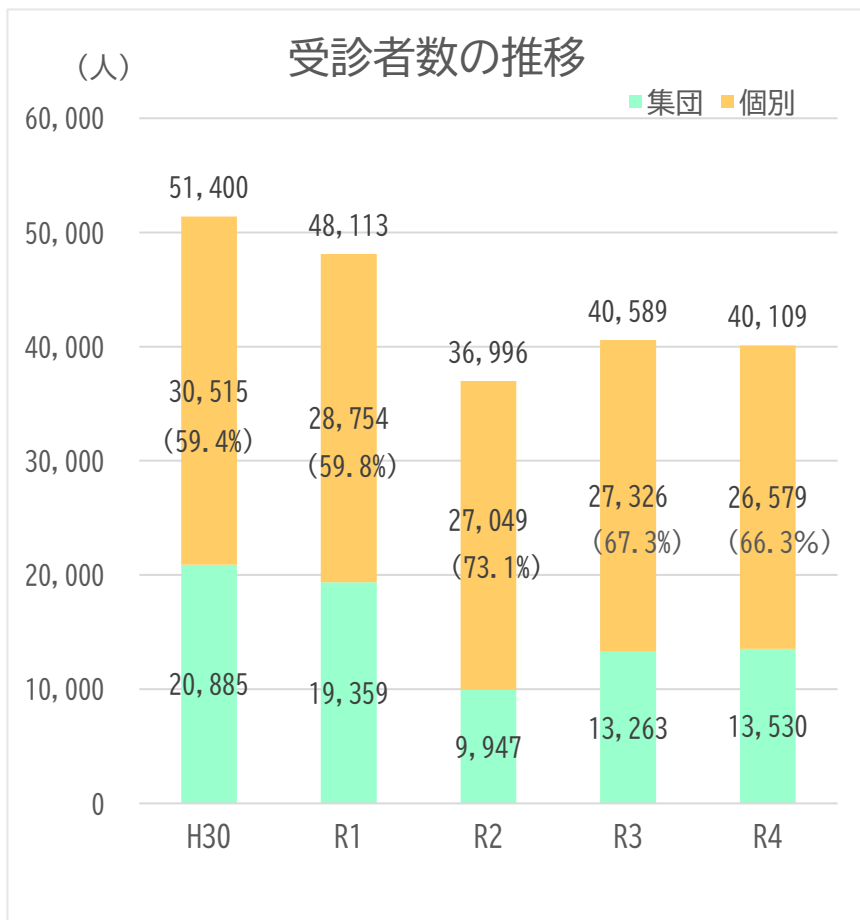
※算出年齢、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※受診率が比較可能なH28以降で比較すると、全国・長崎ともに年々減少傾向。
R2新型コロナウイルス感染拡大の影響でさらに低下していたが、R3・R4は回復傾向にある。

▶2. 肺がん検診受診者数と受診率（40～69歳）

1) 受診者数の推移

- ▶ 受診者数は、年々減少している。
R2年度は減少し、R3年度は増加したものの、R4年度はほぼ横ばいである。



(40～69歳)		H30	R1	R2	R3	R4	喀痰細胞診(R4)
集団	男	8,015	7,449	3,729	4,908	5,013	450
	女	12,870	11,910	6,281	8,355	8,517	32
	計	20,885	19,359	9,947	13,263	13,530	482
個別	男	11,447	10,774	10,138	10,062	9,890	299
	女	19,068	17,980	16,911	17,264	16,689	32
	計	30,515	28,754	27,049	27,326	26,579	331
合計	男	19,462	18,223	13,867	14,970	14,903	749
	女	31,938	29,890	23,129	25,619	25,206	64
	計	51,400	48,113	36,996	40,589	40,109	813

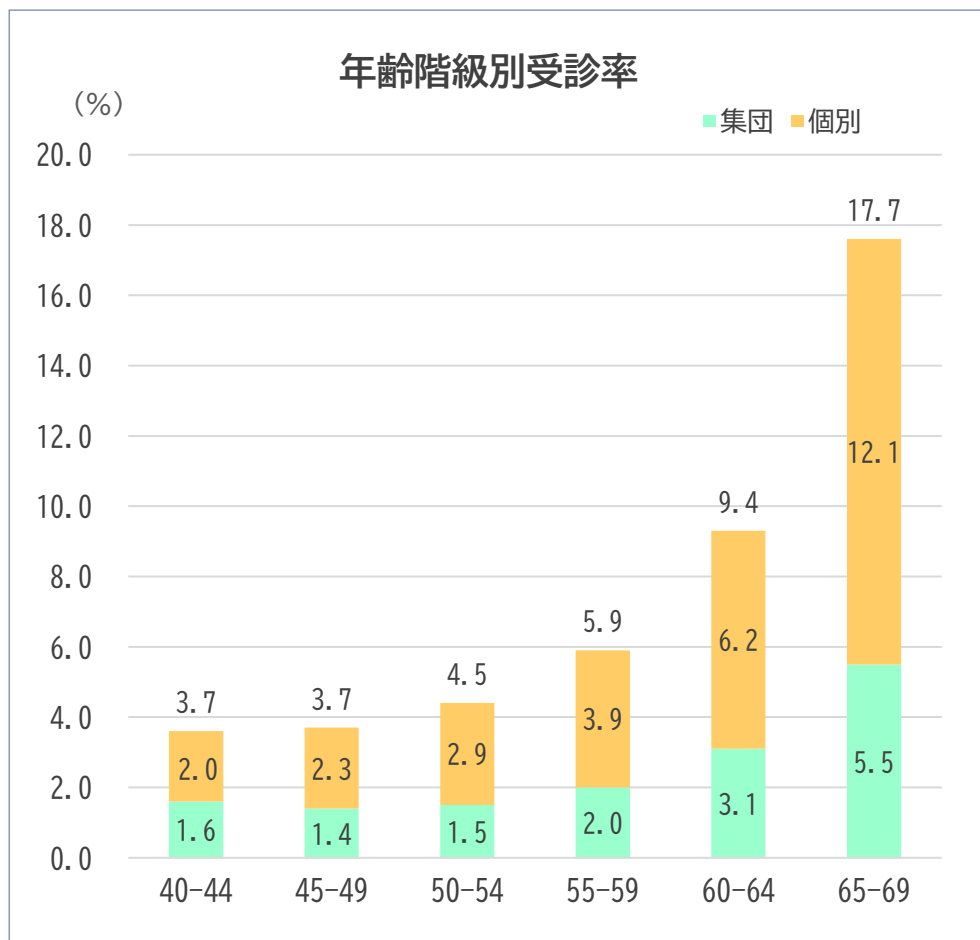
【参考】

全年齢	103,716	107,485	85,377	93,511	96,037	1,901
-----	---------	---------	--------	--------	--------	-------

地域保健・健康増進報告（厚労省）

2)令和3年度年齢階級別受診率

- ▶ 受診率は、年齢階級が高くなるにつれ、集団検診、個別検診ともに高くなる傾向がみられた。また、年齢階級が高くなるにつれ、個別検診の割合が大きくなる傾向がみられた。



年齢階級	対象者数	区分	受診者数	受診率
40-44歳	74,407	集団	1,222	1.6
		個別	1,498	2.0
		計	2,720	3.7
45-49歳	85,153	集団	1,197	1.4
		個別	1,936	2.3
		計	3,133	3.7
50-54歳	86,005	集団	1,302	1.5
		個別	2,527	2.9
		計	3,829	4.5
55-59歳	81,711	集団	1,623	2.0
		個別	3,181	3.9
		計	4,804	5.9
60-64歳	89,544	集団	2,807	3.1
		個別	5,591	6.2
		計	8,398	9.4
65-69歳	97,590	集団	5,379	5.5
		個別	11,846	12.1
		計	17,225	17.7

▶ 3. 令和3年度肺がん検診成績 (40～69歳)

1) 令和3年度肺がん検診成績

						精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数						陽性 反 応 適 中 度	がん 発 見 率	Ⅰ 期 臨 床 病 期 が ん 割 合
	区 分	性 別	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率	あ り	精 検 受 診 率	な し	精 検 未 受 診 率	未 把 握	精 検 未 把 握 率	異 常 な し	が ん	Ⅰ 期 臨 床 病 期 が ん	が ん 疑 い 及 び 未 確 定	が ん 以 外 の 疾 患	G/B			
長 崎 県	集 団	男	4,908	93	1.9	82	88.2	4	4.3	7	7.5	18	5	2	0	59	5.38	0.10	40.0	
		女	8,355	127	1.5	111	87.4	3	2.4	13	10.2	30	3	1	4	74	2.36	0.04	33.3	
		計	13,263	220	1.7	193	87.7	7	3.2	20	9.1	48	8	3	4	133	3.64	0.06	37.5	
	個 別	男	10,063	271	2.7	228	84.1	26	9.6	17	6.3	106	4	2	11	107	1.48	0.04	50.0	
		女	17,263	345	2.0	310	89.9	17	4.9	18	5.2	159	8	3	20	123	2.32	0.05	37.5	
		計	27,326	616	2.3	538	87.3	43	7.0	35	5.7	265	12	5	31	230	1.95	0.04	41.7	
	合 計	男	14,971	364	2.4	310	85.2	30	8.2	24	6.6	124	9	4	11	166	2.47	0.06	44.4	
		女	25,618	472	1.8	421	89.2	20	4.2	31	6.6	189	11	4	24	197	2.33	0.04	36.4	
		計	40,589	836	2.1	731	87.4	50	6.0	55	6.6	313	20	8	35	363	2.39	0.05	40.0	

【参考】

70歳以上	男	21,728	723	3.3	640	88.5	41	5.7	42	5.8	214	31	8	43	352	4.29	0.14	25.8
	女	31,194	819	2.6	728	88.9	48	5.9	43	5.3	272	29	12	42	385	3.54	0.09	41.4
	計	52,922	1,542	2.9	1,368	88.7	89	5.8	85	5.5	486	60	20	85	737	3.89	0.11	33.3

地域保健・健康増進報告（厚労省）

2)令和3年度喀痰細胞診成績

※喀痰対象は50歳以上

							精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度	がん発見率	Ⅰ期がん割合
	区分	性別	喀痰容器配布数 A	喀痰提出者 (受診者数) B	要精検者数 C	要精検率 C/B	あり D	精検受診率 D/C	なし E	精検未受診率 E/C	未把握 F	精検未把握率 F/C	異常なし G	がん H	Ⅰ期がん 臨床病期 I	がん疑い及び 未確定 J	がん以外の疾患 K				
長崎県	集団	男	421	386	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
		女	36	32	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
		計	457	418	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	個別	男	248	235	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
		女	30	29	2	6.9	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
		計	278	264	3	1.1	1	33.3	0	0.0	2	66.7	1	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	合計	男	669	621	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
		女	66	61	2	3.3	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
		計	735	682	3	0.4	1	33.3	0	0.0	2	66.7	1	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	

【参考】

70歳以上	男	793	756	5	0.7	4	80.0	0	0.0	1	20.0	0	3	0	0	1	60.00	0.40	0.0
	女	43	42	2	4.8	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	計	836	798	7	0.9	5	71.4	1	14.3	1	14.3	1	3	0	0	1	42.86	0.38	0.0

3)令和3年度肺がん検診成績（初回受診者の成績）

（再掲）

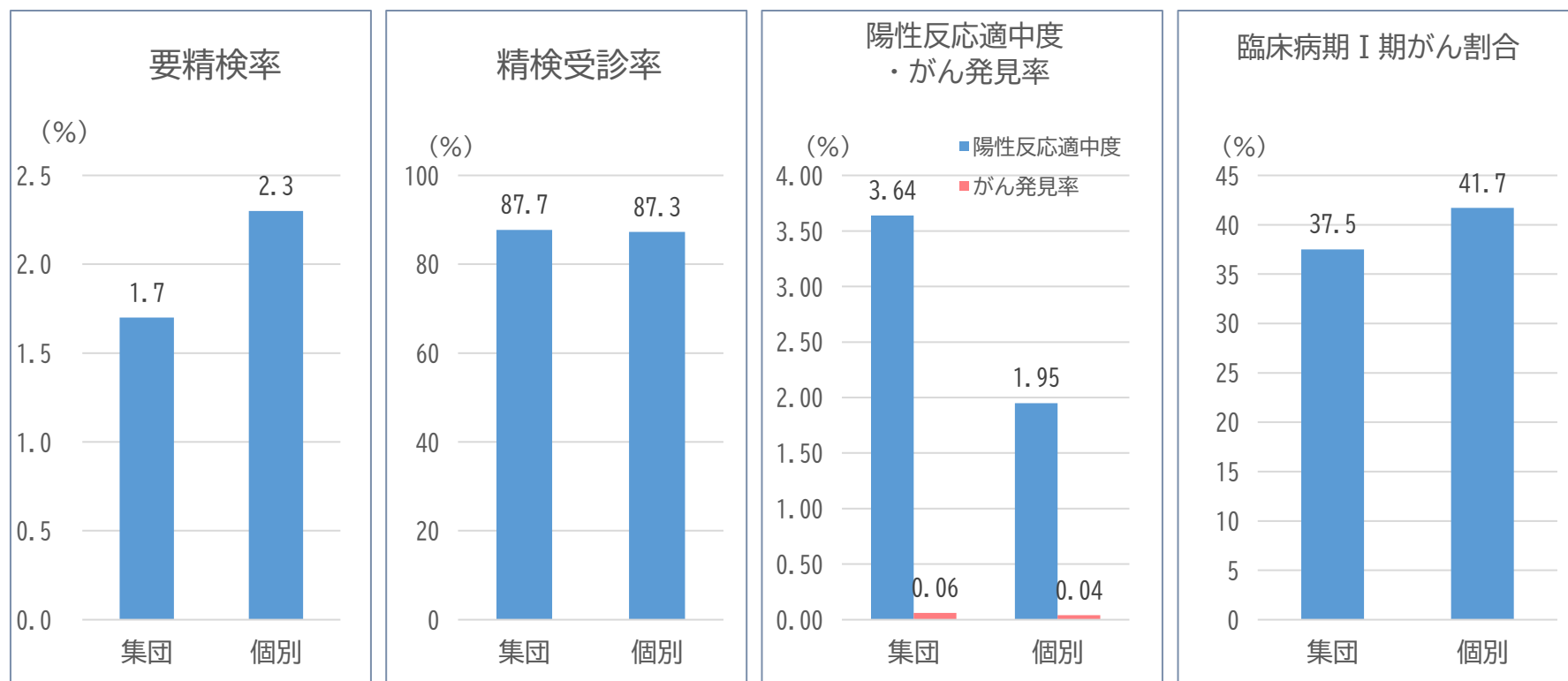
						精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度	がん発見率	Ⅰ期がん割合 臨床病期
	区分	性別	受診者数	要精検者数	要精検率	あり	精検受診率	なし	精検未受診率	未把握	精検未把握率	異常なし	がん	Ⅰ期がん 臨床病期	がん疑い及び 未確定	がん以外の疾患	G/B			
			A	B	B/A	C	C/B	D	D/B	E	E/B	F	G	H	I	J				
長崎県	集団	男	2,436	48	2.0	41	85.4	4	8.3	3	6.3	12	3	2	0	26	6.25	0.12	66.7	
		女	4,181	70	1.7	61	87.1	3	4.3	6	8.6	12	1	0	1	47	1.43	0.02	0.0	
		計	6,617	118	1.8	102	86.4	7	5.9	9	7.6	24	4	2	1	73	3.39	0.06	50.0	
	個別	男	4,557	149	3.3	119	79.9	17	11.4	13	8.7	56	3	2	6	54	2.01	0.07	66.7	
		女	7,438	178	2.4	158	88.8	9	5.1	11	6.2	77	8	3	10	63	4.49	0.11	37.5	
		計	11,995	327	2.7	277	84.7	26	8.0	24	7.3	133	11	5	16	117	3.36	0.09	45.5	
	合計	男	6,993	197	2.8	160	81.2	21	10.7	16	8.1	68	6	4	6	80	3.05	0.09	66.7	
		女	11,619	248	2.1	219	88.3	12	4.8	17	6.9	89	9	3	11	110	3.63	0.08	33.3	
		計	18,612	445	2.4	379	85.2	33	7.4	33	7.4	157	15	7	17	190	3.37	0.08	46.7	

【参考】

70歳以上	男	7,358	336	4.6	293	87.2	20	6.0	23	6.8	100	17	5	25	151	5.06	0.23	29.4
	女	10,313	351	3.4	302	86.0	25	7.1	24	6.8	111	16	7	19	156	4.56	0.16	43.8
	計	17,671	687	3.9	595	86.6	45	6.6	47	6.8	211	33	12	44	307	4.80	0.19	36.4

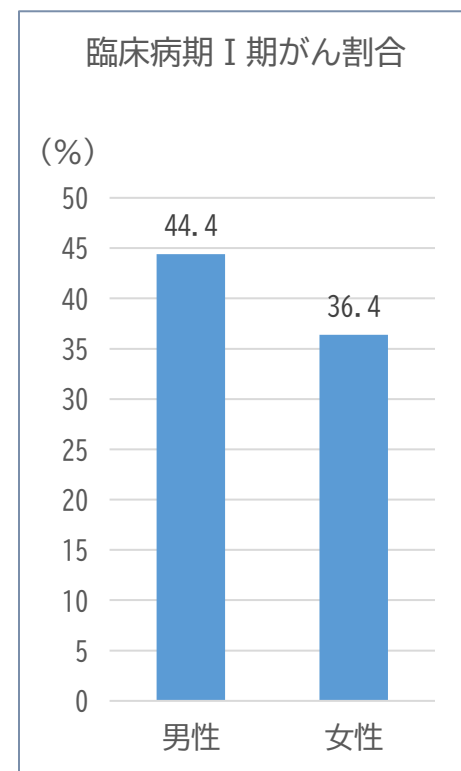
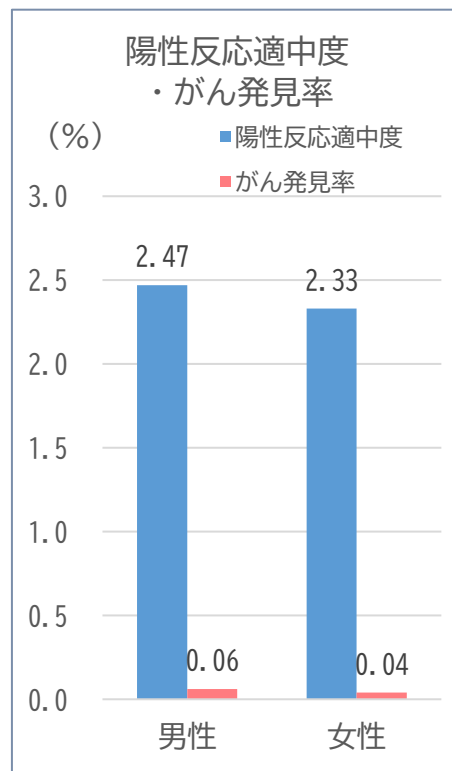
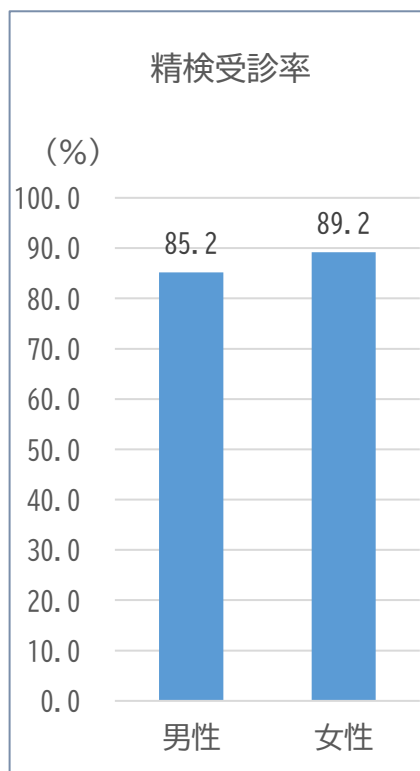
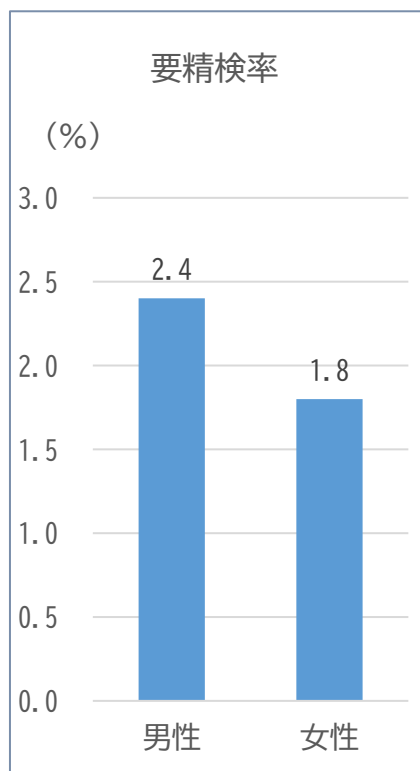
4) プロセス指標の検診形態別（集団・個別）の比較

- ▶ 要精検率は、集団より個別が高かった。
陽性反応適中度は、個別検診より集団検診が高かった。
臨床病期Ⅰ期がん割合は、集団検診より個別検診がやや高かった。



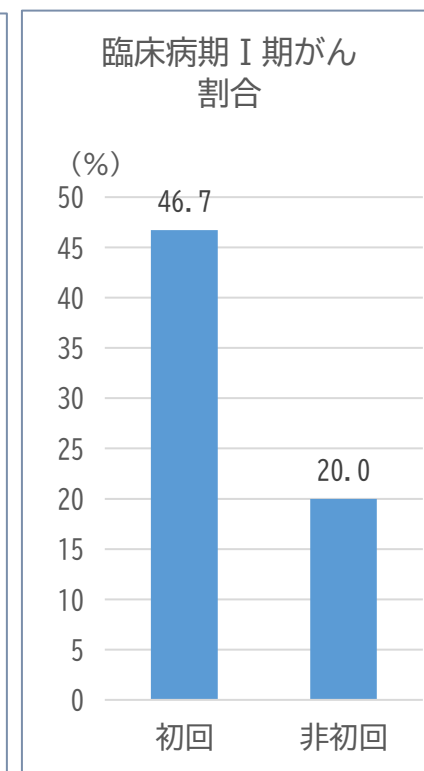
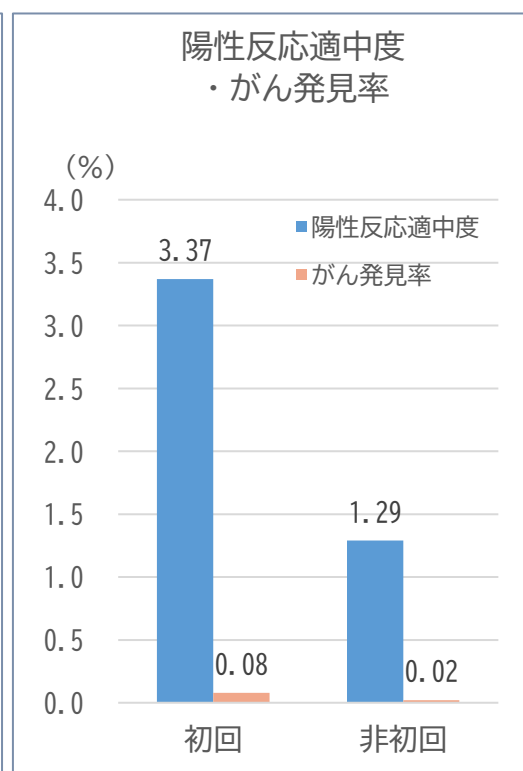
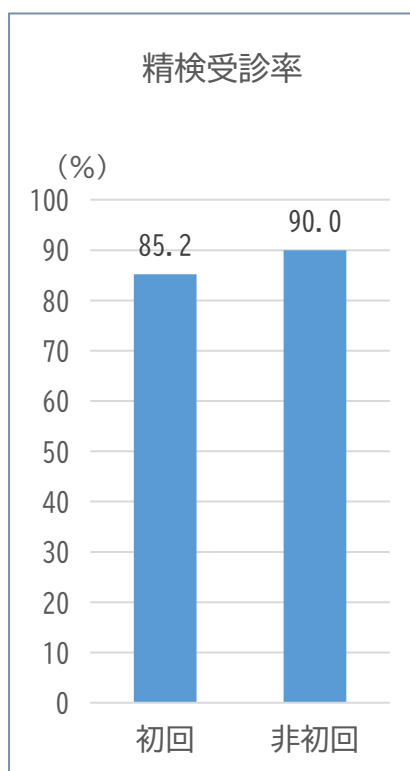
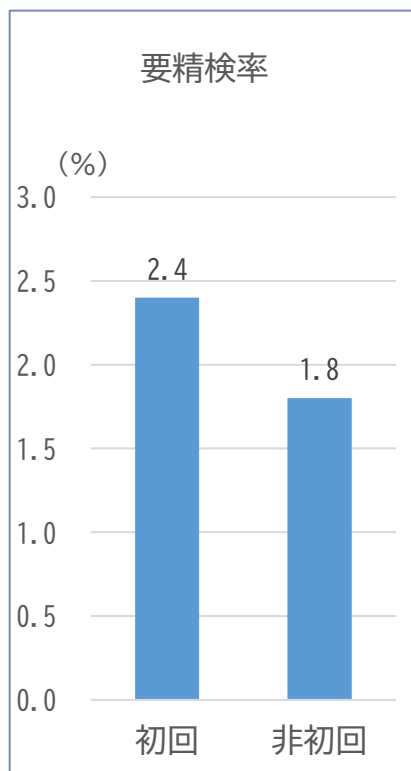
5) プロセス指標の男女別の比較

- ▶ 要精検率は、女性より男性が高かった。
精検受診率は、男性よりも女性がやや高かった。
陽性反応適中度、がん発見率、発見がんに占める臨床病期Ⅰ期がんの割合は、女性よりも男性が高い傾向にあった。



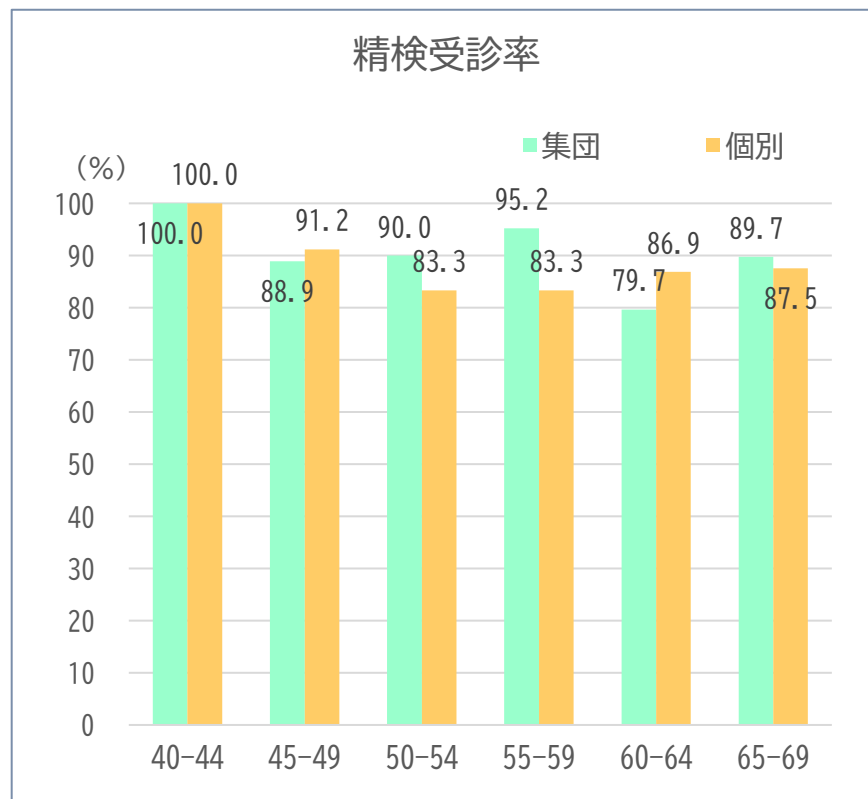
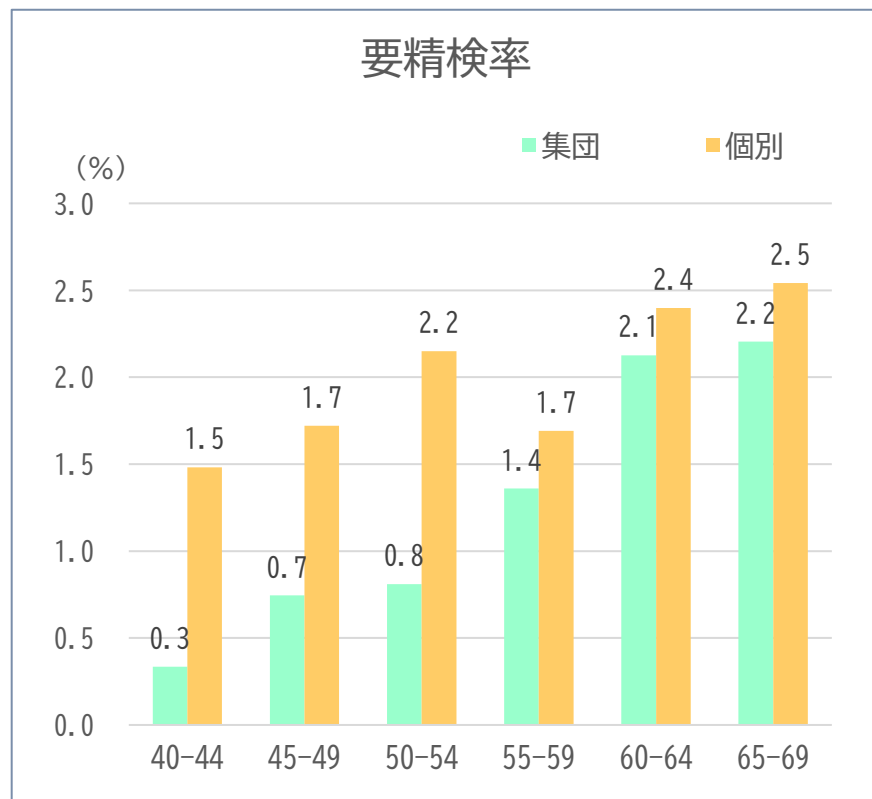
6) プロセス指標の受診歴別（初回・非初回）の比較

- ▶ 要精検率は、非初回より初回が高かった。
精検受診率は、初回よりも非初回がやや高かった。
陽性反応適中度、がん発見率、発見がんに占める臨床病期Ⅰ期がんの割合は、非初回よりも初回が高かった。



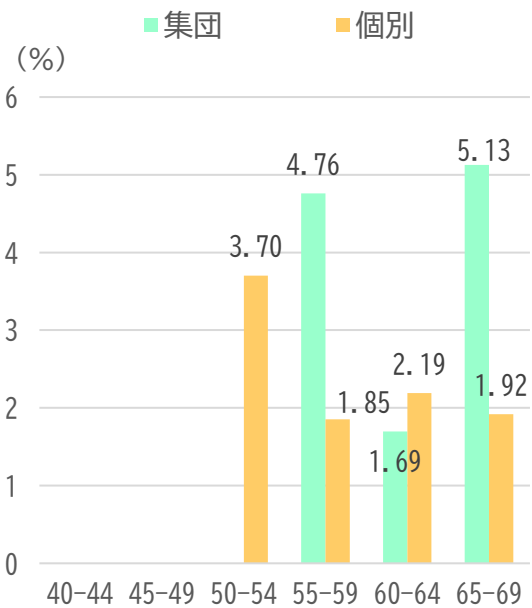
7) 年齢階級別の比較

- ▶ 要精検率は、年齢が上昇するにつれて高くなる傾向にあり、個別検診は全年齢で集団よりも高かった。
- ・ 精検受診率は、40-44歳で100%と高く、他は90%を満たしていない年齢階級もあった。

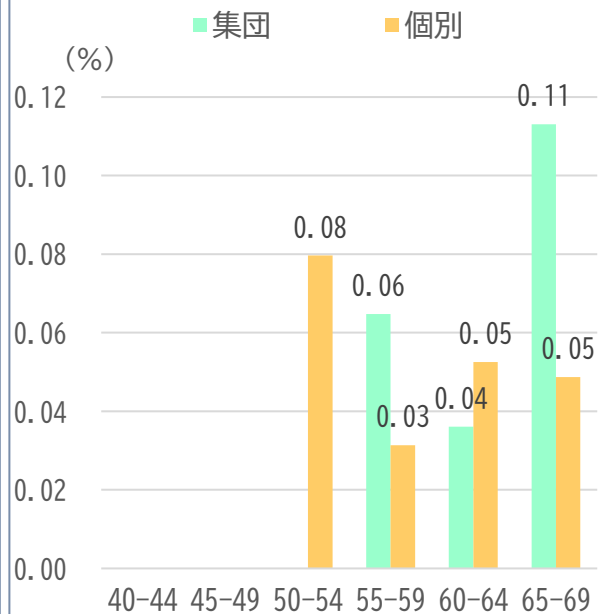


8)年齢階級別の比較

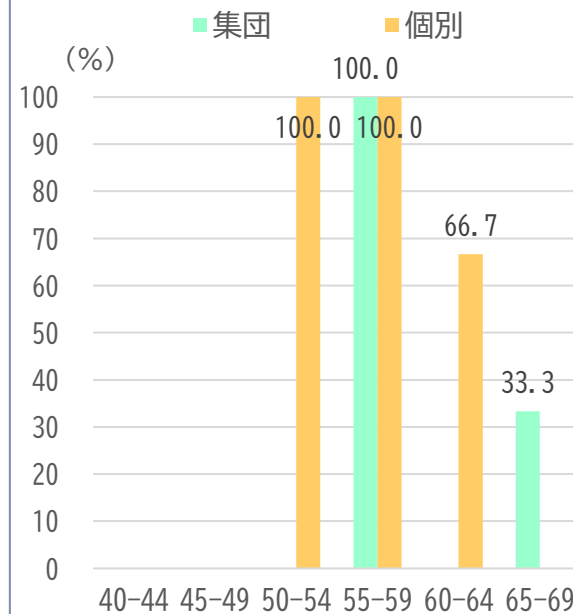
陽性反応適中度



がん発見率



臨床病期 I 期がん割合



▶4.国の示す許容値及び目標値

平成20年に設定
令和5年6月改訂により新基準値へ変更

	胃がん (エックス線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん		
	2 年間隔	1 年間隔		検診以外 の受診を 考慮	連続受診 を考慮					
対象年齢	50-69歳		40-69歳	40-69歳		40-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳
算出に用いた感度*	60%以上		60%以上	50%以上		40歳代：60%以上 50歳代：70%以上 60歳以上：80%以上		65%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
現在の 許容値	11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率				90%以上						
がん発見率*	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
現在の 許容値	0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中度*	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
現在の 許容値	1.0%以上		0.19%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		
非初回受診者の 2年連続受診者割合**				肺がん指標		30%		40%		

*子宮頸がんはCIN3以上に対する値

**国民生活基礎調査から算出したおよその現状の値

▶5. 精度管理（プロセス指標）の意味と解釈

1) 令和4年度市町別受診率

・ 受診者数／対象者数

・ 目的：がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。受診率は高いことが望ましい。

・ 目標値：50%以上（第3期がん計画）

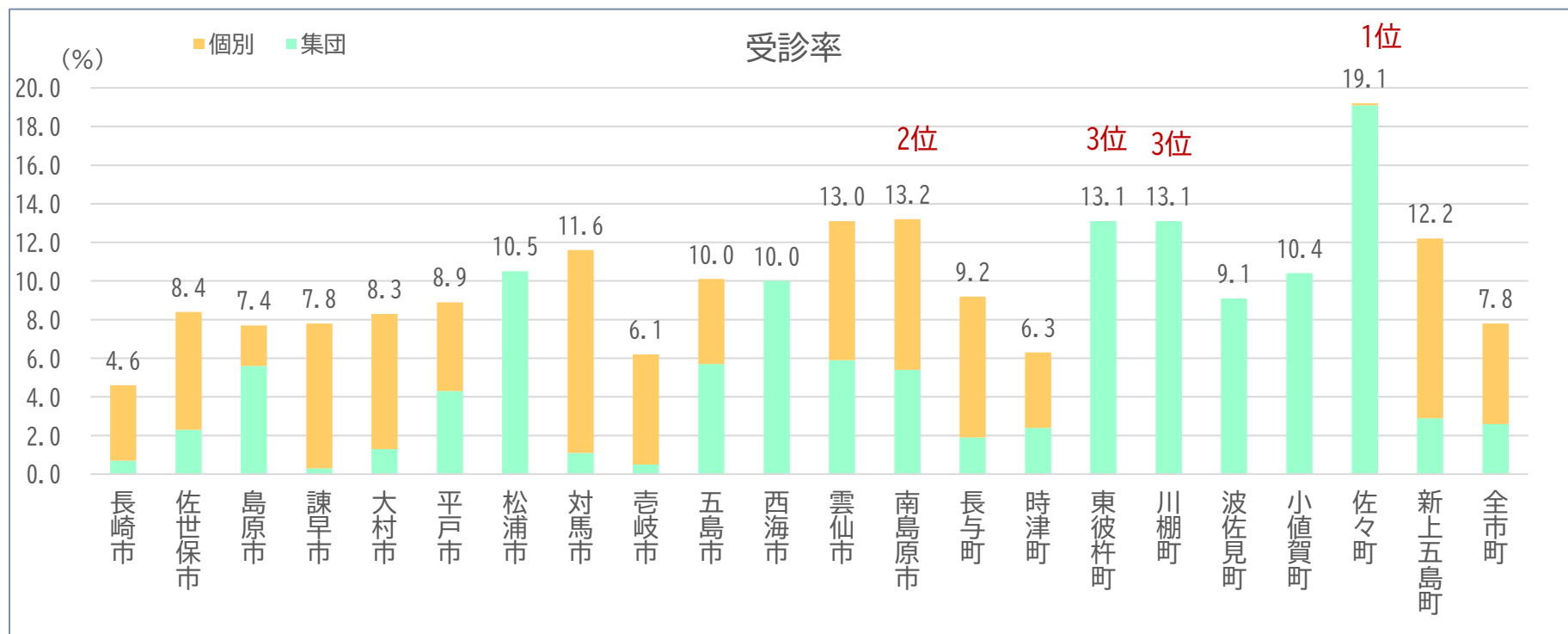
●低い場合に考えられる原因

・ 受診勧奨が不十分

・ 市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。

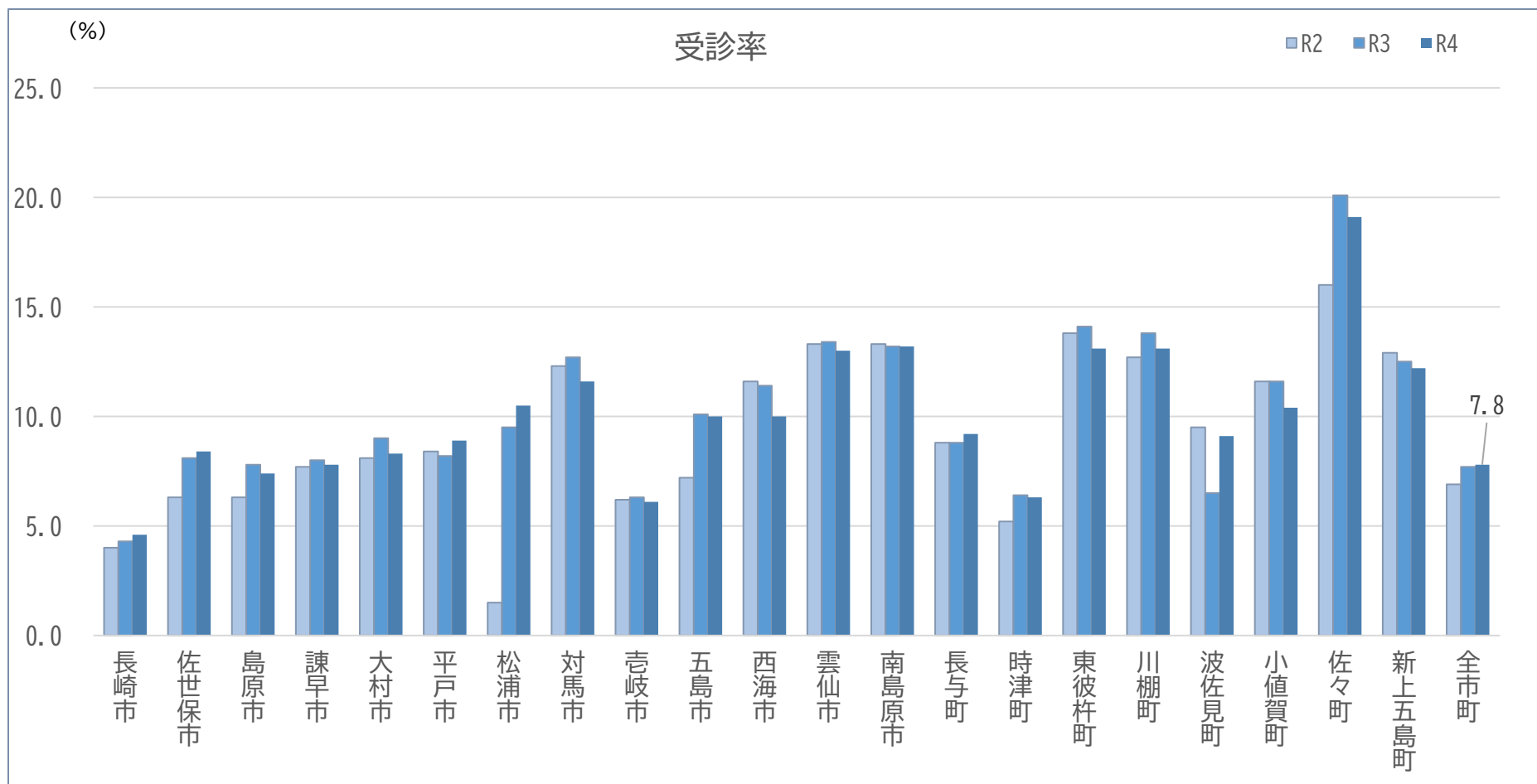
・ 職域における受診者数は含まれていないことから、単純に比較することはできない。

・ 県全体として目標値を満たしていない。



2) 年度別市町別受診率

●前年度より増加した市町：長崎市・佐世保市・平戸市・松浦市・長与町・波佐見町



3) 令和3年度要精検率

・要精検者数／検診受診者数

・目的：精密検査の対象者が適切に選ばれているか

・基準値：2.0%以下〔40－69歳、1年間隔〕

●高い場合に考えられる原因

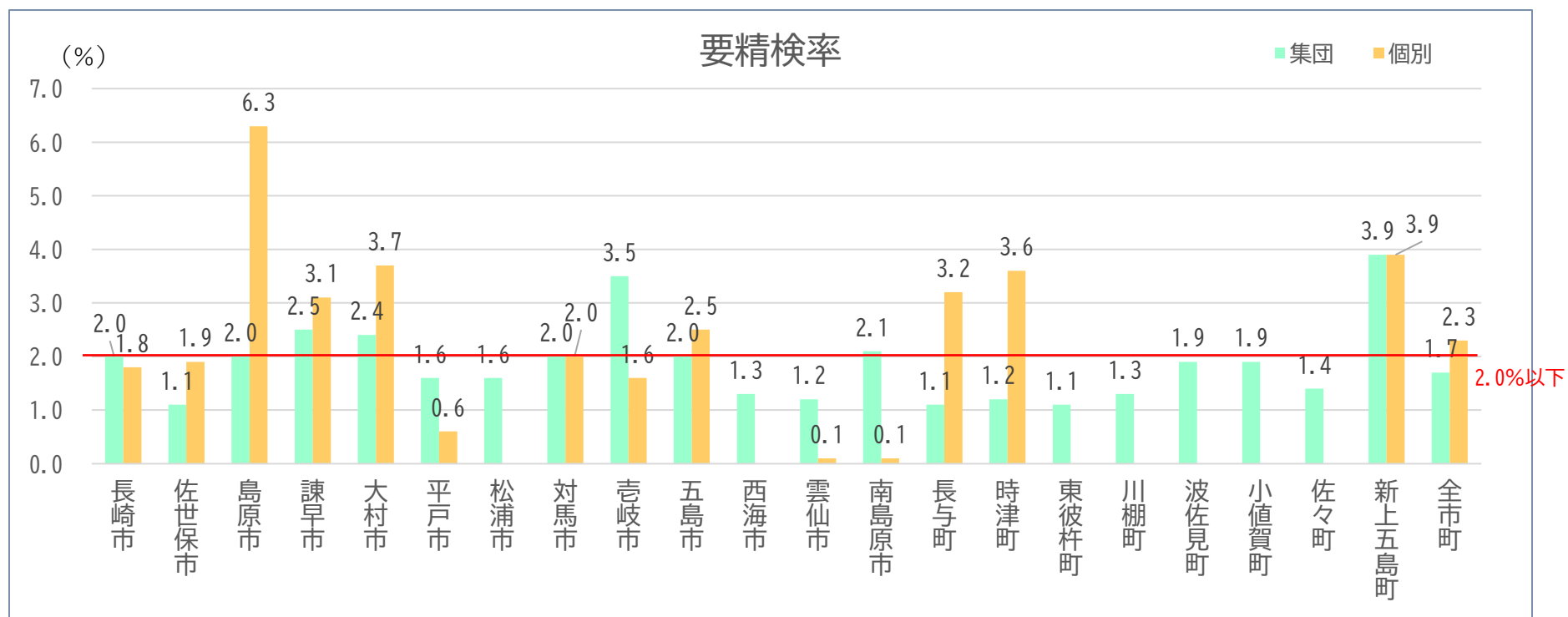
・要精検者の計上は適切か。

・撮影や読影の精度管理に問題の可能性がある。

・有症状者が、がん検診を受診していないか。

・市町の半数が、集団・個別ともに基準値を満たしている。

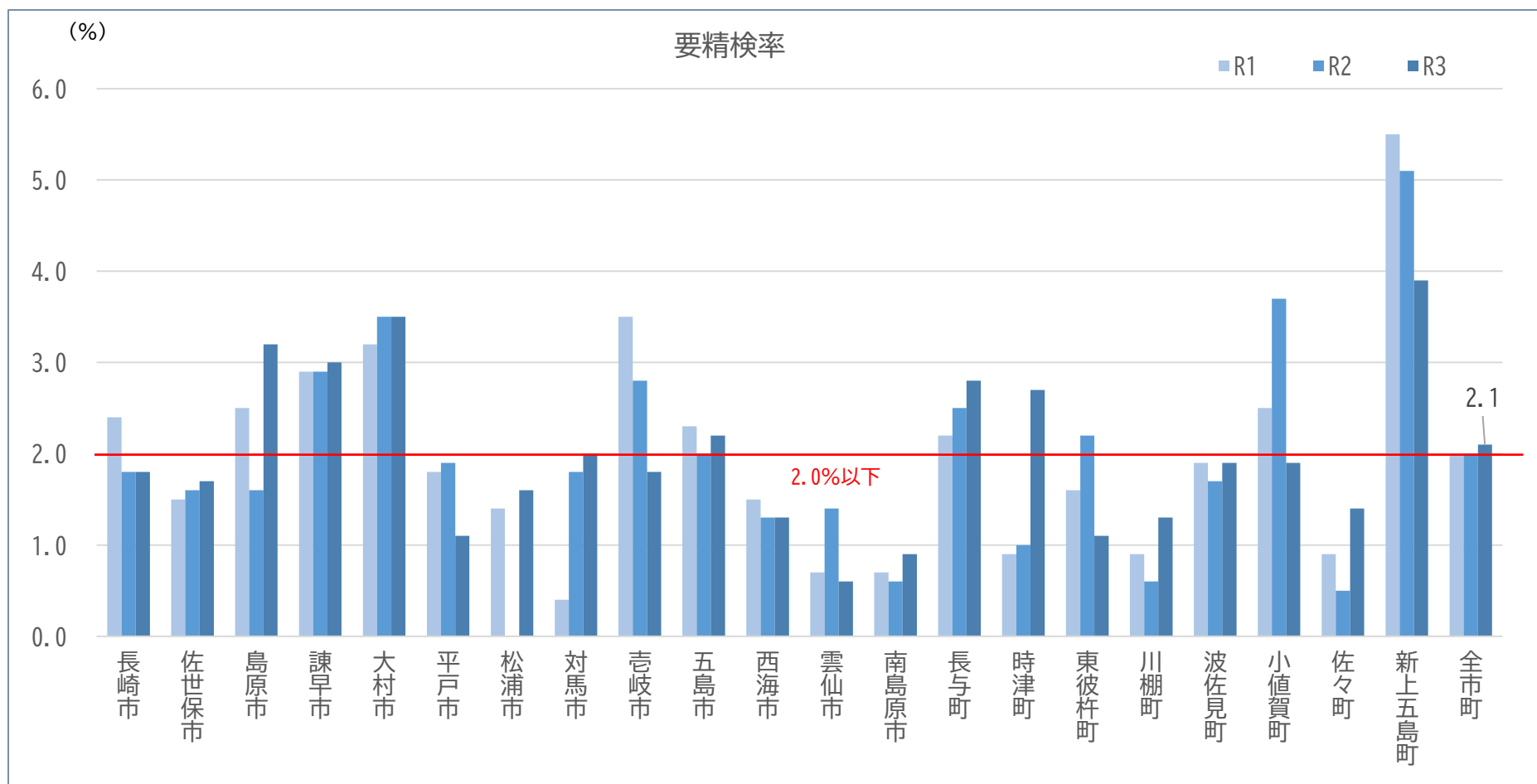
県全体では、集団は満たしているが、個別は満たしていない。



2) 年度別市町別要精検率

●3年連続 2.0%以下の市町：佐世保市・平戸市・松浦市・対馬市・西海市・雲仙市・南島原市・川棚町・佐々町

●3年連続 3.0%以上の市町：大村市・新上五島町



4) 令和3年度精検受診率

・精検受診者数／要精検者数

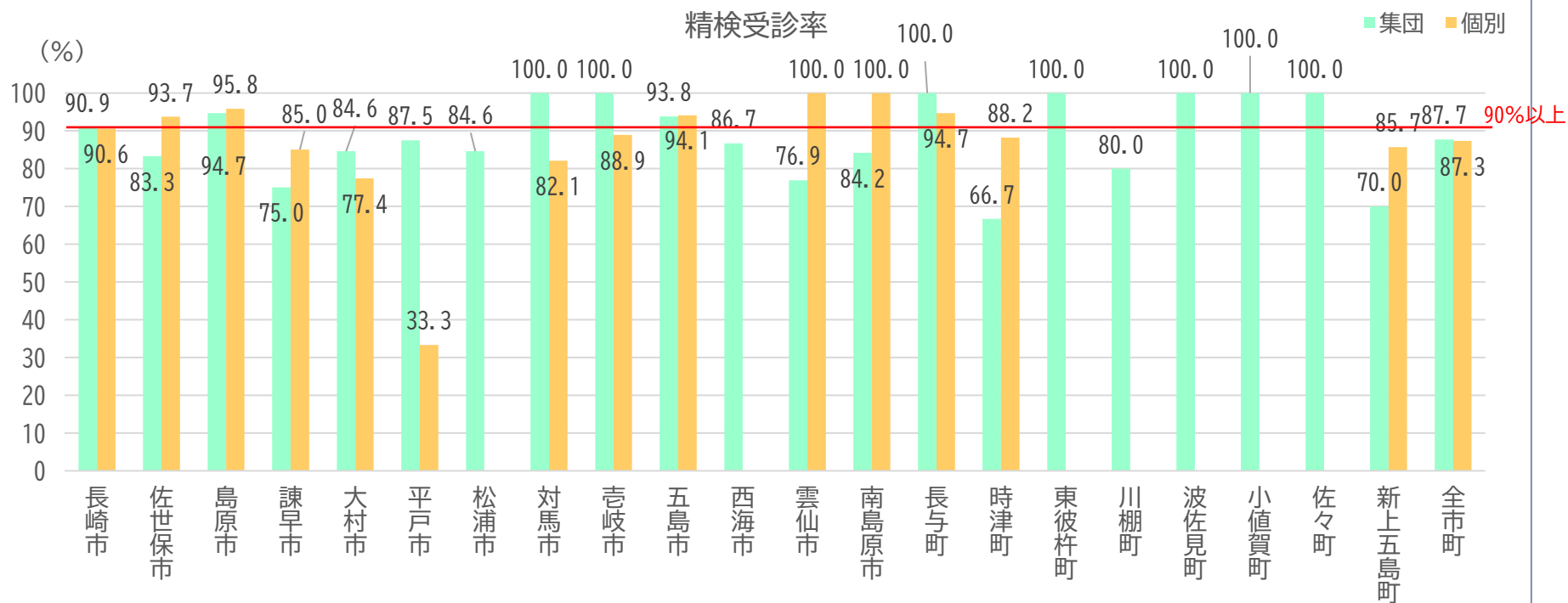
・目的：要精検者が精密検査を受診したか
・高いほど良い。（精検受診率が100%近くなければ、
発見率を正しく評価できない）

・基準値： 90%以上〔40－69歳、1年間隔〕

●低い場合に考えられる原因

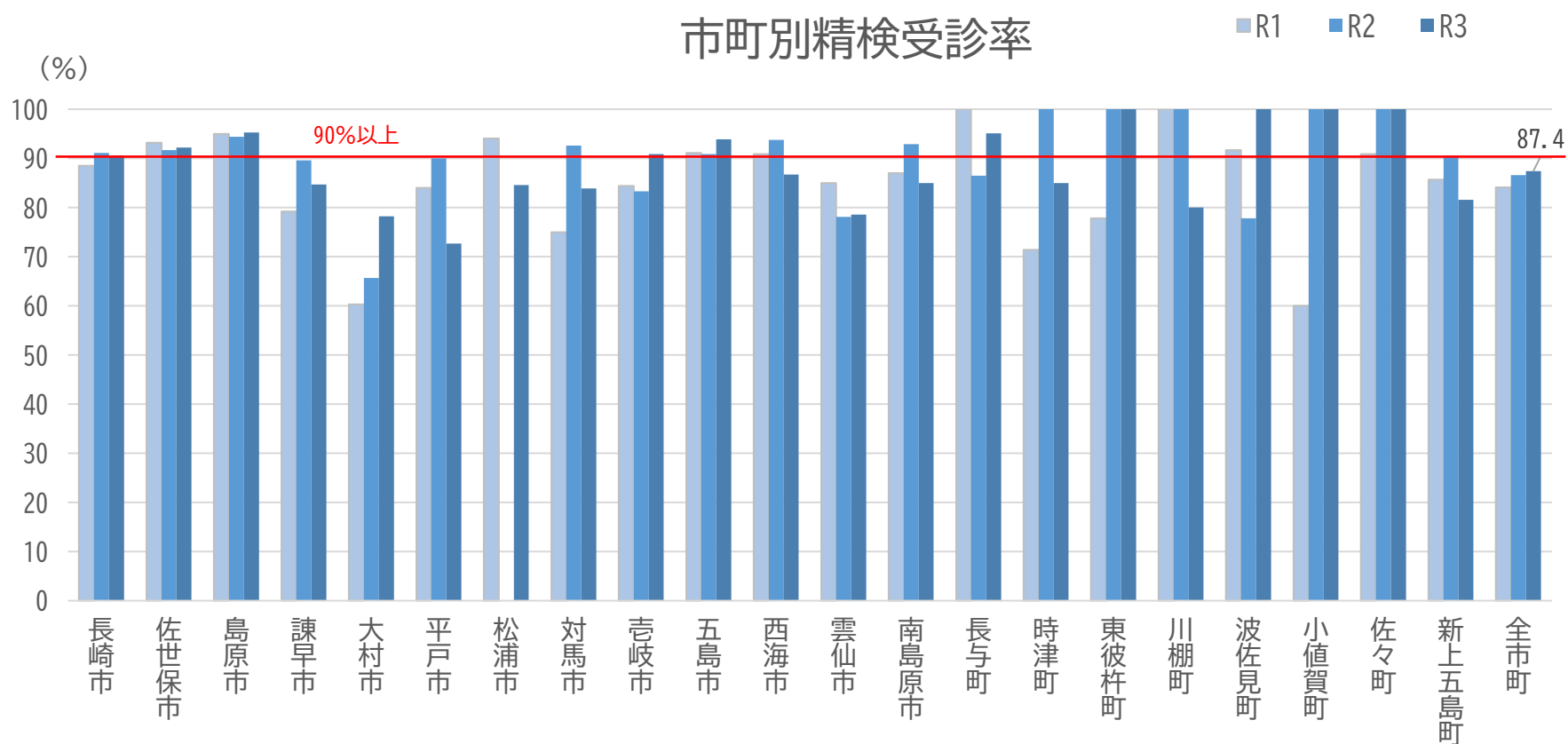
・精検の受診勧奨が不十分。
・精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。

・県全体として、集団も個別も基準値は満たしていない。



5) 年度別精検受診率

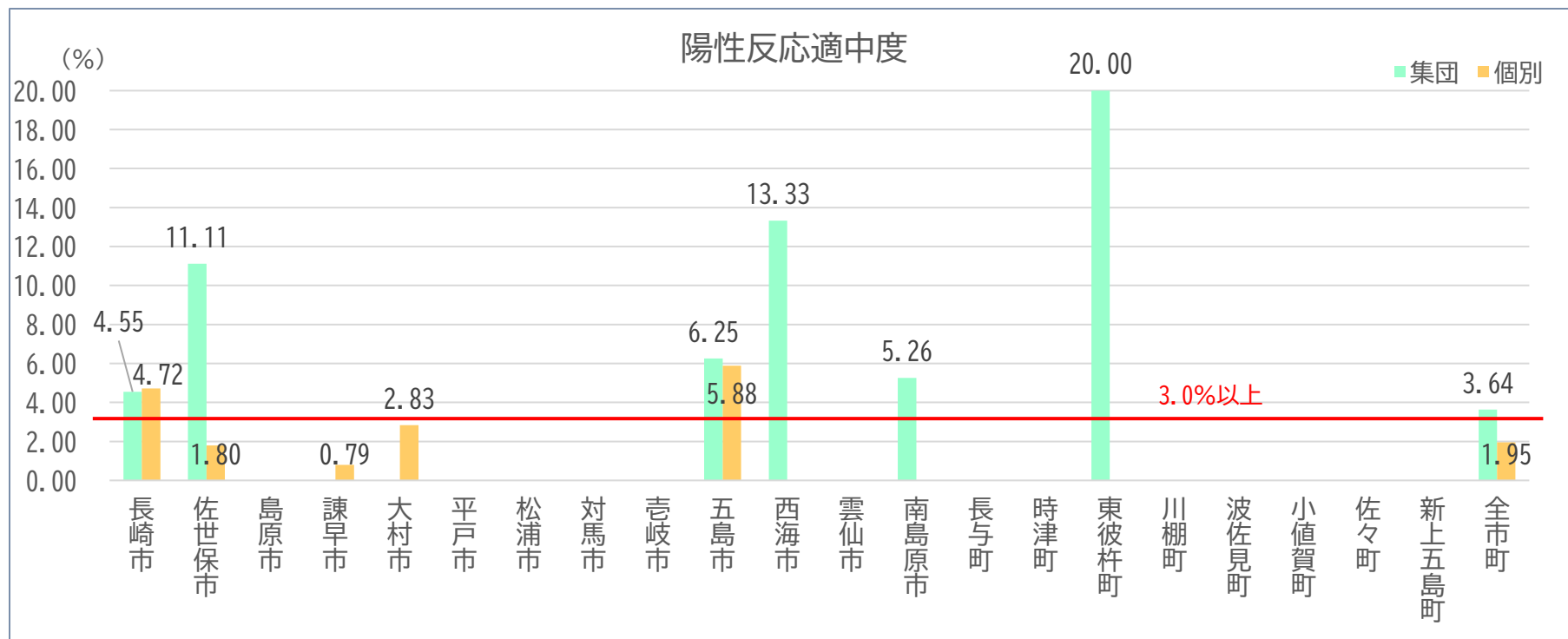
- 3年連続90%以上の市町：佐世保市・島原市・五島市・佐々町
- R3年100%の市町：東彼杵町・波佐見町・小値賀町・佐々町
- R3年70%以下の市町：なし



6) 令和3年度陽性反応適中度

- ・ がんであった方の数／要精検者数
- ・ 目的：検診で効率よくがんを発見されたかを測る
- ・ 基準値：3.0%以上〔40－69歳、1年間隔〕

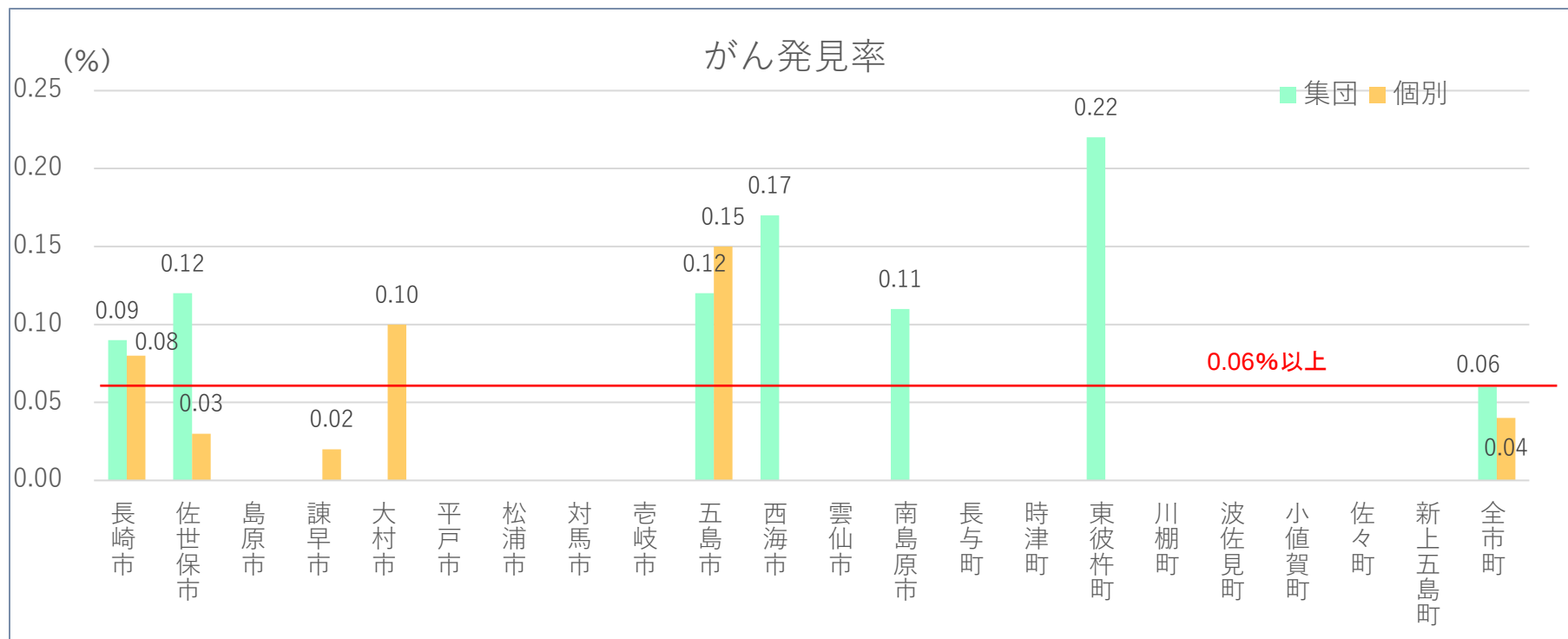
- ・ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
- ・ 県全体では、集団は基準値を満たしているが、個別は満たしていない。
- ・ 肺がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない肺がんが多くある。



7) 令和3年度がん発見率

- ・ がんであった方の数／検診受診者数
- ・ 目的：その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか
- ・ 基準値：0.06%以上〔40－69歳、1年間隔〕

- ・ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
- ・ 県全体では、集団は基準値を満たしているが、個別検診は満たしていない。
- ・ 肺がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない肺がんが多くある。



8) 令和 3 年度 偶発症

▶ 長崎県では偶発症は報告されていません。

【検診時もしくは検診後】

区分	性別	全て				喀痰(再掲)			
		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	...	...	-	-	...	...	-	-
	女	1	...	-	-	...	...	-	-
	合計	1	...	-	-	...	...	-	-
個別	男	...	...	-	-	...	...	-	-
	女	...	...	-	-	...	...	-	-
	合計	...	...	-	-	...	...	-	-
合計	男	...	...	-	-	...	...	-	-
	女	1	...	-	-	...	...	-	-
	合計	1	...	-	-	...	...	-	-

【精密検査時もしくは精密検査後】

区分	性別	全て				喀痰(再掲)			
		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	3	...	-	-	...	...	-	-
	女	3	...	-	-	...	...	-	-
	合計	6	...	-	-	...	...	-	-
個別	男	1	...	-	-	...	...	-	-
	女	3	...	-	-	...	...	-	-
	合計	4	...	-	-	...	...	-	-
合計	男	4	...	-	-	...	...	-	-
	女	6	...	-	-	...	...	-	-
	合計	10	...	-	-	...	...	-	-

6.まとめ

受診率、精検受診率について

- ▶ 受診率で目標値を満たしている市町はなかった。

精検受診率は、県全体として、集団・個別共に基準値は満たしていない。さらに向上させるためには、精密検査の受診勧奨を行うことに加えて、精検医療機関からの情報を、市町が確実に把握できるよう体制を整えることが必要である。

要精検率について

- ▶ 各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがある。
県全体として、集団は基準値を満たしているが、個別は満たしていない。

がん発見率、陽性反応適中度について

- ▶ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
陽性反応適中度は、県全体では、集団は基準値を満たしているが、個別検診は満たしていない。
がん発見率は、県全体では集団検診は、基準値を満たしていた。
また、70歳以上での発見数が多く、40～69歳の集計には反映されていない肺がんが多くある。